

「藤沢市女性の暮らしに関する市民意識調査(仮称)」検討事項

資料8

調査項目	設問番号	質問内容	県調査 (2023年)	仙台市調査 (2022年)	事務局の考え方など
1 基本属性	(1)	年齢	○	○	
	Q1	あなたの年齢をお知らせください。			・困難女性支援法の対象者には、年齢制限がないことから、従来の市民意識調査よりも対象年齢の幅を広げて実施する。(従来は18歳以上) ①12～19歳 → 中学1年生から … ⑥65～74歳 → 前期高齢者の年齢 ⑦75歳以上 → 後期高齢者の年齢
	(2)	婚姻状況	○	○	
	Q2	あなたは現在、結婚(事実婚を含む)をしていますか。			・H30市民意識調査から引用。
	(3)	家族構成	○	○	
	Q3	あなたが現在一緒に住んでいる方は、あなたを含めて全部で何人ですか。			・H30市民意識調査時は、家族構成選択式。簡単に答えてもらえるよう、仙台市の設問を引用。
	Q3-1	「2人以上」とお答えの方におたずねします。 あなたが現在、一緒に住んでいる方はどなたですか。			
	Q3-2	「子ども」とお答えの方におたずねします。 一番下のお子さんの年齢区分をお答えください。			
	(4)	居住地区	—	—	
	Q4	お住まいの地区をお答えください。			・市内の地域差を確認するため。
2 現在の暮らしについて	(1)	職業	○	○	
	Q6	あなたの現在の働き方をお答えください。			
	(2)	年収			
	Q7	あなたのお宅(世帯)で、家計を主に支えている方をお答えください。	—	○	
	Q8	昨年1年間、あなたのお宅(世帯)では、全体でどれくらいの収入(税込)がありましたか。	○	○	
	Q9	昨年1年間にあなた自身がお仕事で得た収入(税込)はどれに近いですか。	—	○	
	(3)	経済的困窮感	○	○	
	Q10	現在の経済的な暮らし向きをどのように感じていますか。 (たいへんゆとりがある←→たいへん苦しい)			
	(4)	経済的自立の認識	—	—	
	Q11	あなたは、経済的に自立していると思いますか。			

調査項目	設問番号	質問内容	県調査 (2023年)	仙台市調査 (2022年)	事務局の考え方など	
2	現在の暮らしについて	(5)	抱えている困りごとについて	○	○	<p>・選択肢は、県調査を引用。近年問題となっている⑨も追加。</p> <p>・順位付けにするか、該当するものに○をつけるのか。 →女性が抱える問題は多様化・複雑化しており、順位を聞かれても具体的に答えることが難しいのではないかと考える。県と同様、一人の女性がどのくらい困難を抱えているのか把握したいため、該当するものに○をつける方式が良いと考える。</p>
		Q12	<p>あなたは現在、次のようなことで困っていますか。</p> <p>①配偶者・パートナー・恋人からの暴力 ②配偶者・パートナー・恋人以外からの暴力 ③性的な被害や問題 ④生活困窮・就労問題 ⑤健康問題 ⑥家庭問題 ⑦職場・地域等との関係 ⑧住まい・居場所に関する問題 ⑨孤立感・孤独感 ⑩その他( ) ⑪あてはまるものはない</p>			
3	心の状態や人間関係	(1)	主観的健康感	○	○	<p>・厚生労働省「国民生活基礎調査」で使用されているK6を引用。 ①「神経過敏に感じた」→「普段よりもストレスや刺激に敏感に反応してしまい、精神的に辛く感じた」に修正。</p> <p>・第2期ふじさわ自殺対策計画で使用されている「警察庁自殺統計」から引用。</p>
		Q13	現在の心身の健康状態について、どのように感じていますか。			
		(2)	ストレス	○	○	
		Q14	現在、ストレスを感じていますか。			
		(3)	メンタルヘルス	○	○	
		Q15	<p>過去1か月の間、次のようなことがどれくらいの頻度でありましたか。</p> <p>①普段よりもストレスや刺激に敏感に反応してしまい、精神的に辛く感じた ②絶望的だと感じた ③そわそわしたり、落ち着きがなくなった ④気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた ⑤何をしても面倒くさいと感じた ⑥自分は価値のない人間だと感じた</p>			
		(5)	生きづらさ			
		Q16	生きづらさを感じることはありますか。	○	○	
		Q16-1	<p>Q16で「感じることもある」とお答えの方におたずねします。 どのような理由で生きづらさを感じますか。</p> <p>①交際問題 ②家庭問題 ③学校問題 ④勤務問題 ⑤経済・生活問題 ⑥健康問題 ⑦その他</p>	—	—	
		(4)	居場所	—	○	
Q17	あなたが安心できる場所がありますか。					
(5)	人間関係	○	○			
Q18	日頃、親しく話ができる人はどなたですか。					
Q19	不安・悩みを相談する相手はどなたですか。					

調査項目	設問番号	質問内容	県調査 (2023年)	仙台市調査 (2022年)	事務局の考え方など
4 これまでの出来事や体験	(1)	<b>暴力</b>	—	○	
	Q20	あなたは、配偶者・パートナーや交際相手、それ以外の人との間で、次のような体験をしたことがありますか。※「DV」「デートDV」「暴力」には、身体的暴力以外にも、精神的・性的・経済的・社会的暴力を含みます。 ①配偶者・パートナーからのDV ②交際相手からのデートDV ③家族や親せき等、その他の人からの暴力 ④あてはまるものはない			・仙台市調査から引用。
	Q20-1	Q20で①～③とお答えの方におたずねします。 その問題が起こった時に、どのように対応しましたか。 ①公的な窓口相談したり、支援を受けている ②民間の窓口相談したり、支援を受けている ③家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらっている ④主に自分ひとりで何とかしようとしている ⑤ほぼ何もしていない			・県調査から引用。
	Q20-2	Q20-1で④⑤とお答えの方におたずねします。 どこにも・誰にも相談しなかったのはなぜですか。 ①どこにも・誰にも相談したらよいかわからなかったから ②周りに相談する人がいなかったから ③恥ずかしくて誰にも言えなかったから ④相談しても無駄だと思ったから ⑤我慢できる程度だから ⑥他人を巻き込みたくなかったから ⑦他人に相談することに抵抗があるから ⑧相談するほどのことではないと思ったから ⑨相談することを思いつかなかったから ⑩その他			・H30市民意識調査のうち、県調査・仙台市調査と重複している部分を引用。県調査では、②～⑤の人に「公的な窓口に行かなかった理由」を聞いているが、④～⑤と答えた人で、一人で我慢している理由を聞きたい。 →窓口のあり方や、アウトリーチ検討の資料としたい。
	(2)	<b>生活困窮・就労問題、住まい・居場所に関する問題</b>			
	Q21	あなたは、生活に関して、どのような不安を抱えていますか。(抱えたことがありますか。) ①経済的な困りごと(仕事のことを含む)を抱えたことがある ②住まい・居場所に関する問題を抱えたことがある ③あてはまるものはない			・県調査から引用。
	Q21-1	Q21で①～②とお答えの方におたずねします。 その問題が起こった時に、どのように対応しましたか。			選択肢は、Q20-1と同じ
	Q21-2	Q21-1で④⑤とお答えの方におたずねします。 どこにも・誰にも相談しなかったのはなぜですか。			選択肢は、Q20-2と同じ
	(3)	<b>健康問題</b>	○	—	
	Q22	健康に関わる不安や問題を抱えたことがありますか。 ①抱えたことがある ②抱えたことはない			・女性特有の健康課題など、深堀できる質問にするか検討。
	Q22-1	Q22で①とお答えの方におたずねします。 その問題が起こった時に、どのように対応しましたか。			選択肢は、Q20-1と同じ
	Q22-2	Q22-1で④⑤とお答えの方におたずねします。 どこにも・誰にも相談しなかったのはなぜですか。			選択肢は、Q20-2と同じ
	(4)	<b>家庭問題</b>	○	○	
	Q23	あなたは家庭に係る問題を抱えたことがありますか。 ①抱えたことがある ②抱えたことはない			
Q23-1	Q23で①とお答えの方におたずねします。 その問題が起こった時に、どのように対応しましたか。			選択肢は、Q20-1と同じ	
Q23-2	Q23-1で④⑤とお答えの方におたずねします。 どこにも・誰にも相談しなかったのはなぜですか。			選択肢は、Q20-2と同じ	

調査項目	設問番号	質問内容	県調査 (2023年)	仙台市調査 (2022年)	事務局の考え方など	
4	これまでの出来事や体験	(5) ハラスメント（職場・地域等との関係）	—	△	<p>・H30市民意識調査では、セクシュアルハラスメント(セクハラ)・パワーハラスメント(パワハラ)に限定して聞いていた。厚生労働省が定義している、マタニティハラスメント(マタハラ)・パタニティハラスメント(パタハラ)・ケアハラスメント(ケアハラ)に関する内容も追加。</p>	
		Q24 あなたは職場・地域・学校などで次のような言動を受けて、嫌な思いをしたことがありますか。 ①殴る・蹴るなどの身体的な攻撃 ②人格を否定するような言動 ③仲間外れ・無視 ④明らかに不要な業務を強制させる ⑤きちんと仕事を任せてもらえない ⑥プライバシー(性的指向、性自認、病歴等)の暴露 ⑦嫌がっているのに、性に関する話を聞かせる ⑧身体を触るなどの性的な嫌がらせ ⑨産休を取ろうとしたら退職を促される ⑩育休取得の相談をしたが、承認してもらえない ⑪介護休業の相談をしたが、承認してもらえない ⑫その他( ) ⑬あてはまるものはない				
		Q24-1 Q24で①～⑫とお答えの方におたずねします。その問題が起こった時に、どのように対応しましたか。				選択肢は、Q20-1と同じ
		Q24-2 Q24-1で④⑤とお答えの方におたずねします。どこにも・誰にも相談しなかったのはなぜですか。				選択肢は、Q20-2と同じ
5	相談・支援について	(1) 相談・支援	○	○		
		Q25 もし、あなたが相談するとしたら、どのような方法や場所でしたいですか。				
		Q26 困難な問題を解決するために、どのような環境や支援があると良いと思いますか。				
		(2) 相談窓口				
		Q27 DVの相談先として、次のような窓口をご存じですか。	—	△	・H30市民意識調査から引用。	
		Q28 DV相談窓口案内カードをご存じですか。	—	—	・H30市民意識調査から引用。	
		(3) 性の健康の取組について	—	—		
		Q29 市では、市役所本庁舎1階・3階の女性用トイレに、無料で生理用ナプキンを提供する「OiTr(オイテル)」設置しています。無料生理用ナプキンディスペンサーが最寄りの公共施設等にあれば、使用しますか。				
Q30 女性の健康課題に対し、どのような取組が広がるとよいと感じますか。			・「フェムテック」という用語の認知度、男性への啓発、生理休暇の広がりなど、具体的な設問とすることも検討。			
(4) 要望	○	○				
Q31 抱える困難や支援に対する要望等がありましたら、ご記入ください。						